



山鹿市

●看護福祉の人材育成で連携 12日、城北高と市民医療センターが市役所で協定を結んだ。看護師育成や栄養管理・社会福祉分野の教育充実などにつながる狙い。初年度は同高看護科・看護専攻科（計5年課程）の教職員が同センターで最新の医療技術に関する研修を受け、生徒の実習も従来の計40日から増やす方針。同高の竹原英治理事長（73）は「地域に役立つ人材の育成に一層励みたい」と話した。



連携協定を結んだ（左から）竹原英治・城北高理事長と別府透・山鹿市民医療センター事業管理者、立会人の早田順一市長＝同市